

## 編集後記

今年度の女性学インスティテュートの活動は、春の主催講演会も初夏の連続セミナーも、女性学研究会（9月に第5回、2月に第6回）も優れた講師陣のお蔭で充実した内容となった。全学的な副専攻プログラムはこれまで音楽学部以外では機能していなかったが、今年度、初めて女性学分野で修了生が出たのは喜ばしい。書評コンクールも優秀賞を出すことができた。機関誌『女性学評論』は10月の投稿論文が1本という危機的状況に陥ったが、呼びかけに応じてくれた所員の熱意で充実した形となったことに感謝したい。本学の女性学インスティテュートは日本で2番目に古い女性学専門の組織であり、その火を消してはならないと考える。女性学インスティテュートの所員ならびに委員各位、そして事務局の皆様のお力添えによって、2期4年間のディレクター職を全うすることができた。ここに深謝する。（文責：津上智実）

## 女性学インスティテュート委員会

■ 研究所長	横田 恵子
■ ディレクター	津上 智実
■ 委員	伊藤 拓真
	栗山 圭子
	小坂 美保
	笹尾 佳代（アルファベット順）

### 神戸女学院大学 女性学評論 第34号

印刷 2020年3月15日 発行人 横田恵子  
発行 2020年3月20日 題字 溝口芳子  
編集 女性学インスティテュート委員会  
編集事務 古橋右希、橋本尚美、北村元、佐伯修、坂元登紀子  
武知優子、宇佐美梨恵（アルファベット順）  
発行所 神戸女学院大学女性学インスティテュート  
〒662-8505 西宮市岡田山4-1  
TEL 0798-51-8545  
印刷所 尼崎印刷株式会社  
〒661-0975 尼崎市下坂部3丁目9-20  
TEL 06-6494-1122(代)